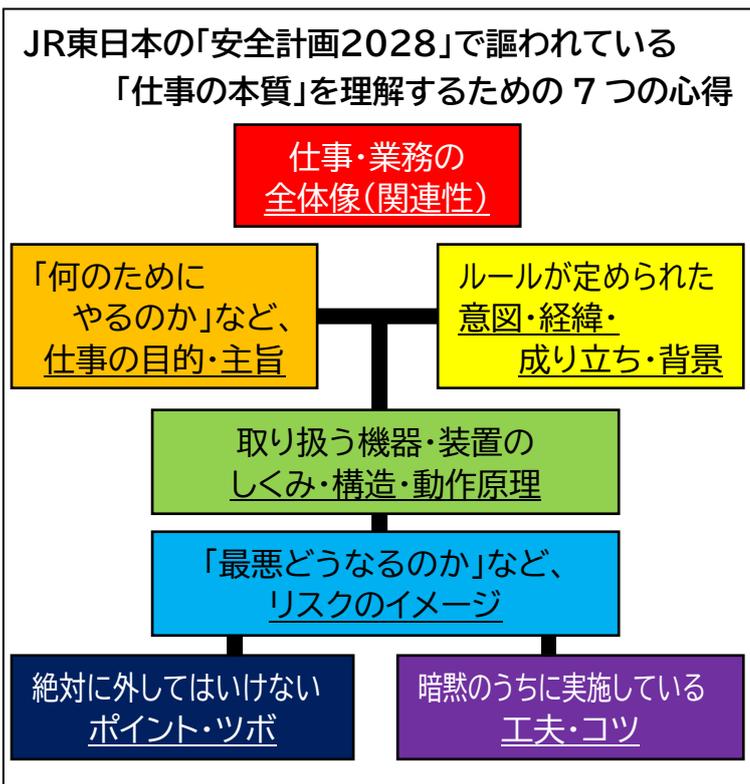
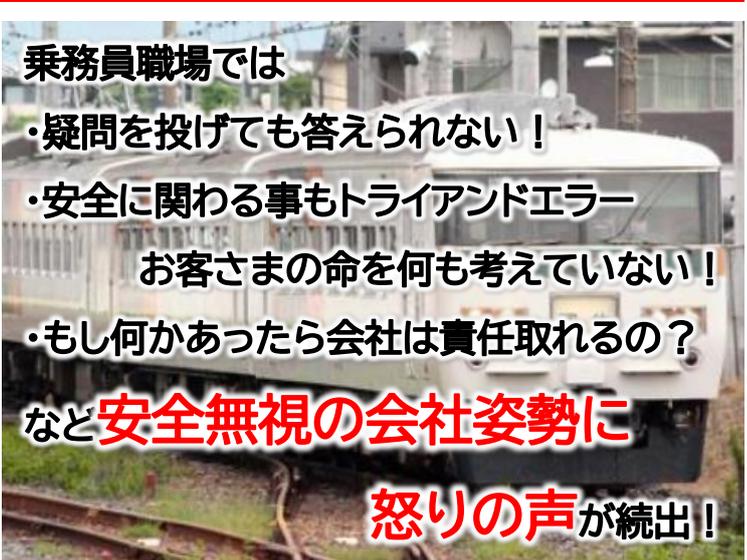


乗務員による団体臨時列車の貫通作業
警告！安全配慮不履行事案
 ～安全が経営のトッププライオリティというJR東日本の教育の実態～

一部の乗務員職場にて「団体臨時列車の車内貫通作業を乗務員が担当する」ことが6月の訓練で突如説明されました。その中で「2024年7月から実施」と会社は謳っていますが**変更の目的や趣旨、乗務員への教育、試用期間やOJTの未実施**などすべてにおいて明確になっておらず、実施日ありきの施策です。それと同時に「ヒトを起点とした価値・サービスの創造」から完全に逸脱した教育であり、**安全が経営のトッププライオリティというJR東日本の実態**であります。



JR東日本は昨年12月「安全計画2028」をプレス発表し、その中で社長は「一人ひとりが、これまで考えられなかった事態や過去の経験を超える事態が起こることを想像して安全を先取ることに挑戦していく」と述べており、「仕事の本質」を理解するために7つの心得を打ち出しています。今回の「乗務員による団体臨時列車の車内貫通作業」では**会社が謳っている「仕事の本質」を理解するために7つの心得を全く無視し、安全を蔑ろにした施策**であります。私たちはエッセンシャルワーカーとしてお客さまを目的地まで安全に送り届ける使命があります。輸送サービス労組東京支部はお客さまやそこで働く社員を第一に考え、労働組合として今のJR東日本を正していきます！